

Scope 1～3、LCA（ライフサイクルアセスメント） 算定サービスのご案内

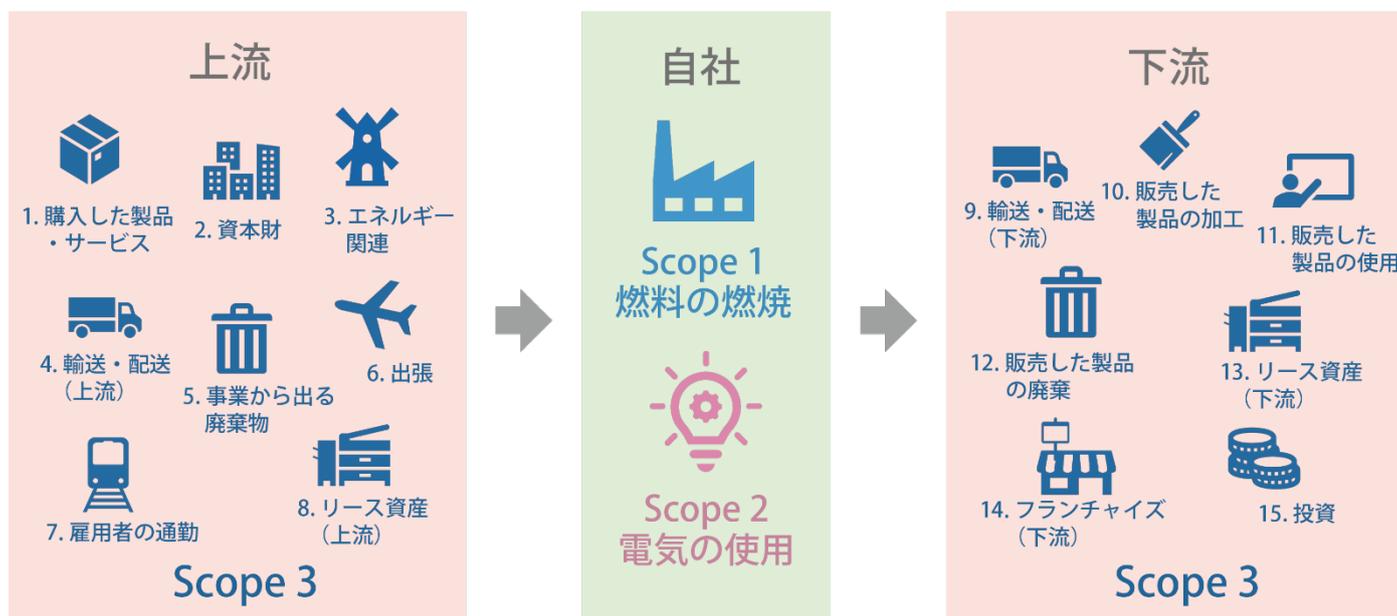
カーボンニュートラルへ向けた動きが世界的に加速している中、サプライチェーン全体での温室効果ガスの排出量削減を推進していくことの重要性も高まっています。

企業が様々なステークホルダーからサプライチェーン全体の排出量の可視化が求められている中、製品・サービス単位の排出量にも関心が集まっており、さらに温室効果ガスのみならず、他の環境影響の可視化も注目されつつあります。

カケンテストセンターでは、これらの Scope 1～3（組織単位の GHG（Greenhouse Gas：温室効果ガス）排出量）および、LCA（Life Cycle Assessment：ライフサイクルアセスメント）の算定サービスを開始いたしました。

Scope1～3

Scope1～3 までの排出量の合計（組織単位の GHG 排出量）を算定します。国際的な基準である GHG protocol 等に基づき算定を行います。



Scope 1:事業者自らによる温室効果ガスの直接排出

Scope 2:他社から供給された電気、熱、蒸気の使用に伴う間接排出

Scope 3:Scope 1、Scope 2 以外の間接排出

LCA

LCA（ライフサイクルアセスメント）は、製品やサービスの原材料の採取から製造・輸送、使用及び廃棄に至るライフサイクル（ゆりかごから墓場まで）における投入資源・エネルギー、排出物およびそれらによる地球や、生態系への潜在的環境影響を定量的に評価する方法です。

LCAは、地球温暖化に関わるGHG（Greenhouse Gas：温室効果ガス）排出量だけではなく、オゾン層破壊や、酸性化など様々な環境影響を評価することができます。LCA実施手順はISO14040シリーズで国際規格化されています。



LCA 算定の目的

- 削減の取り組みに向けた排出量の可視化
- 取引先からの開示要請
- 生産プロセスの改善や環境配慮型製品の開発に役立てる など

お問い合わせ

総務部 サステナブル推進室
 TEL：03-6736-5406
 e-mail：sustainable-ml@kaken.or.jp